

数字を用いた略語にみる現代中国社会（Ⅲ・完）

岡 益 巳

6. その他の社会問題

6. 1. 幹部の腐敗

開放政策採用以来、数年おきに反腐敗闘争が展開されてきたが、幹部の腐敗現象に歯止めをかけるには至っていない。一九九二年秋の「十四大」以降の五年間だけをみても、多くの法律や制度が定められた。例えば、制定された法律には次のようなものがある。『中国共産党規律検査機関の訴訟事件検査工作条例』『中国共産党黨員指導幹部が清廉に政治を行うための若干の規則（試行）』『中国共産党規律処分条例（試行）』『党内監督五項目制度を再表明し打ち立てることに関する実施方法』『県以上の党と国家機関の黨員指導幹部民主生活会の質を向上させることに関する意見』『指導幹部が個人的重要事項を報告することに関する規定』『節約を励行し奢侈浪費行為を制止することに関する若干の規定』。また、党・政府機関の県・処級以上の指導幹部収入申告制度、党と国家機関の工作人員が国内の公務活動中に受け取った贈り物を登録する制度、国有企業の業務接待費の使用状況を従業員代表者会議に報告する制度などが設けられた。（劉春錦・張寒[1997]pp. 13-14）

（1）① “三大腐敗現象”（三大腐敗現象）

② “三大战役”（三大戦役）

公款吃喝、以权谋房、坐豪华汽车被老百姓怒斥为三大腐敗現象。为

此，中央在战略上总体规划，战术上分阶段部署，就老百姓痛恨的三大腐败现象分别开展了专项斗争，人称反腐败的三大战役。（97-17-14）

公費による飲み食い，権力を用いた住宅取得，豪華な乗用車利用は三大腐敗現象として一般大衆の怒りを買っている。このため，中央は戦略的には全体規制をし，戦術的には段階別に分けて配置することによって，一般大衆が激しく憎む三大腐敗現象について集中的な闘争を個別に展開しており，人々は反腐败の三大戦役と呼んでいる。

“三大战役”は，ここでは三大腐敗撲滅運動を指すが，一般には一九四八年から四九年二月にかけて華北各地で行われた共産党と国民党の戦い，遼瀋戦役，淮海戦役，平津戦役を指す（那須[1991]p. 242）。

（2）“59现象”（五十九歳現象）

公務員の定年である六十歳を間近にした幹部たちの汚職が横行している。

近几年，在全国纪检监察系统查处的各类违纪违法案件当中，有相当一批涉案者是即将离退休下来的老干部，人称“59现象”。人们不禁要问，这些人何为到了晚年却误入歧途？“59现象”的背后又是什么？（97-6-36）

この数年，全国の規律検査および監察関連部門が取り締まりを行った各種の規律違反，違法事件の中で，かなりの容疑者が定年間近の老幹部であり，「五十九歳現象」と呼ばれている。これらの人たちがなぜ晩年に至って道を踏み外してしまったのか，思わず問いかけたくなる。「五十九歳現象」の背後には何があるのか。

福建省南平地区の元水電局長・邱阿旺らの収賄事件は，容疑者が省内外の六十ほどの機関の百十人余りに及び，百万元に近い額が動いた。邱阿旺は六十歳前で，党歴四十年の老幹部であり，八十年代にはコネによる家族の就職を固辞したほど清廉な幹部であった。彼は刑務所で次のような後悔の念を語った。「私の最大の誤りは思想改造を緩めてしまったことです。過去においては余りにも清廉潔白すぎて，タバコ一本すら受け取らなかったが，もうすぐ定年退職となるので，賄賂を受け取らなければ損であり，ま

たその機会もなくなってしまう、と思ったのです。」このように、権力があるのに用いなければ時期が過ぎて没になる、最終バスに乗って最後の一稼ぎをする、という共通した心理によって晩節を守ることができなくなっている。（王麗華[1997]pp. 36-37）

なお、“59現象”は“59岁犯罪现象”（五十九歳犯罪現象）とも言われる。

（3）“五水干部”（五つの「水」の幹部）

最近、一則顺口溜让笔者感慨良久：“上午品茶水，中午喝酒水，下午捞外水，晚上打‘大水’，月底拿薪水”。顺口溜虽有些偏激，但也确实确实道出了我们周围“五水”干部存在的现实。说到底，这类“五水”干部沾染了严重的官僚主义气息。（97-9-52）

最近、一篇の流行り謡を耳にして筆者はしばらく感慨にふけた：「午前中はお茶を味わい、お昼は酒を飲み、午後は小遣い稼ぎをし、夜はトランプに興じ、月末には給料をもらう」。流行り謡はいくぶん誇張が加えられているが、我々の周囲に「五つの水」の幹部が存在している現実をしっかりと語っている。結局のところ、この「五つの水」の幹部はひどい官僚主義の空気に染まりきってしまっている。

“大水”は湖北方言で、トランプ競技の一種を指す。仕事はできないが、酒、マージャン、保身の術などには長けた幹部が相当数存在することは、この他にも“三五干部”（遊び好き幹部），“三不干部”（三つの「しない」幹部），“六白干部”（六つの「ただでする」幹部），“三公干部”（酔っぱらい幹部）等の流行り謡からも窺い知ることができる。これらの謡に関しては岡[1995]を参照されたい。

（4）①“三陪”（三つのお相手）

②“新三陪”（新しい三つのお相手）

“陪酒、陪歌、陪舞”的“三陪”之风未消，如今又悄然兴起了“陪会、陪吃、陪玩”。陪会。有的上级党政机关，因经费等原因，为避操办会议之苦，设法把会议放到基层去开。基层有苦难言，只好打肿脸充

胖子，全力办会，而且尽心尽职陪会。陪吃，时下，陪吃成了一项重要的工作，成了面对面培养感情的纽带。……故而，吃喝餐餐加码，陪者“步步高升”。陪玩，为使上级玩的有“味”挖空心思：打猎、垂钓、卡拉OK舞会……玩者快乐无穷，陪者全心投入。（97-18-65）

「酒のお相手，カラオケのお相手，ダンスのお相手」という「三つのお相手」の風潮がまだ収まらないのに，またもや「会議のお相手，宴会のお相手，遊びのお相手」の風潮が密かに湧き起こっている。会議のお相手。上級党・政府機関の中には，経費等の理由で，会議を主催する面倒を避けるため，手を用いて会議を末端現場で開催する。末端現場では大変であっても口にはできず，無理をして全力を傾け会議を開き，精いっぱい会議のお相手をする。宴会のお相手。目下のところ，宴会のお相手は重要な職務となっており，顔を合わせて親密感を深めるための絆となっている。……それ故，宴会は行われる度に盛大になり，お相手をする者は「少しずつ昇進」する。遊びのお相手。上級の連中に楽しく遊んでもらうために苦心惨憺する：狩猟，魚釣り，カラオケ舞踏会……遊ぶ者は心行くまで楽しみ，お相手をする者は全力を傾ける。

一九九〇年代に入り，“三陪小姐”（お色気サービス嬢）による“三陪”は，お色気産業の一種として隆盛を極めていく。酒の相手をしてくれる女性は“陪酒女”，カラオケでデュエットをしてくれる女性は“陪唱女”，ダンスのパートナーになってくれる女性は“陪舞女”であるが，このほかにも，いっしょに映画を見てくれる“陪看女”，海水浴のお供をしてくれる“陪泳女”，いっしょに風呂に入ってくれる“陪浴女”などがある。

一方，“新三陪”は，党および政府の末端幹部による上級機関に対する過剰「サービス」を指している。次の例文では，“三陪”は“陪行、陪吃、陪玩”（現場視察のお供をする，宴会のお相手をする，遊びのお相手をする）を指す。

领导者，起码应做到两点：第一，衡量属下对工作是否重视，是否尊

重自己，应看其是否圆满完成了工作任务，不应看其投入“三倍”的份量。第二，检查工作或调研不要动辄通知当地领导，不妨直达基层。

（96-20-65）

指導者は少なくとも二つの点を実行しなければならない。第一に，部下が職務を重視しているかどうか，自己を律しているかどうかを評価し，部下が工作任務を問題なく完成しているかどうかに目を向けなければならない。部下が「三つのお相手」に投入した分量で判断してはならない。第二に，工作状況の検査あるいは調査研究を行う場合には，安易に現地の指導者に通知をしてはならない。それがそのまま末端へ伝わってしまうのを防ぐためである。

上級機関の指導者たちも常に接待を減らさなければならないと語っているのに，なぜ減らないのか。接待を減らせば，末端現場の指導者に“二怕”（二つの心配）が生じるからである。第一に，レッテルを貼られることを心配する。上級の指導者がやって来たら，現地の指導者は必ずお供をする。さもなくば，上から非難され，傲岸無礼のレッテルを貼られることが心配である。第二に，ボロが出ることを心配する。もしも自分で案内しなかったならば，万一上級の指導者が検査時に誤って横道に入り込んで，中味が暴露されると面倒なことになる。（李衛星[1996]p. 65）

（5）“五官不正”（五つの器官の不正）

七忌“五官”不正。“五官”就是我们的干部应“耳不偏”，实事求是；“眼不斜”对事业负责；“腿不懒”勤下基层；“手不贪”为民办实事；“嘴不馋”不吃喝强占农民的成果，减少村民负担。（97-3-56）

第七番目に，「五つの器官」の不正を避けること。「五つの器官」とは，我々の幹部は「耳が偏ってはならず」，実際に基づいて正しく行動しなければならない；「目を背けてはならず」，事業に対して責任を負わなければならない；「足は怠けてはならず」，努めて末端現場へ出かけなければならない；「手は賄賂を受け取ってはならず」，民衆のために正しい事を行わなければならない；「口はむさぼり食ら

ってはずらず」，飲み食いしたり農民の労働の成果をせしめたりしてはならず，村民の負担を減らさなければならない。

“五官”の“官”は「身体器官」を指しているが，「役人」という意味も込められているところが面白い。

（6）“四个管住”（四つの管理）

领导干部应做到“四个管住”。管住自己的头，不该想的不要想。管住自己的嘴，不该吃的不要吃。管住自己的手，不该拿的不要拿。管住自己的脚，不该去的地方不要去。（97-19-62・63）

指導幹部は「四つの管理」を行わなければならない。自分の頭を管理し，考えるべきではないことは考えてはいけない。自分の口を管理し，食べるべきでないものは食べてはいけない。自分の手を管理し，受け取るべきでないものは受け取ってはいけない。自分の足を管理し，行くべきでないところへは行ってはいけない。

（7）“三项制度”（三つの制度）

第五章第一節では，農民の負担を軽減するための方策としての“三项制度”を取り上げたが，ここでは企業の指導幹部が自己規律を確立するための方策として用いられている。

一九九三年八月中央纪委二次全会以来，有关部门先后重申和制定了党政领导干部廉洁自律规定三十一条、省部级干部遵守政治纪律七条，企业领导干部廉洁自律八条和领导收入申报，礼品登记、企业招待费向职代会报告等三项制度。（97-10-6）

一九九三年八月の中央規律委員会第二回全体会議以来，関係部門は相次いで重ねて表明し，党・政府の指導幹部清廉自律規定三十一条と省・部級幹部の遵守すべき政治規律七条，企業の指導幹部清廉自律八条および指導者の収入申告，贈り物の登録，企業接待費の従業員代表会への報告等の三つの制度を制定した。

（8）“三乱”（三つのむやみに）

交通警察官の悪行も目に余るものがある。

前些年，公路“三乱”时有发生，个别交警目无群众，服务态度极差，使交管工作也同时成为社会关注的“热点”。在部分群众眼里，交管工作有权、有势、有利，是不正之风较严重的部门之一。（96-18-38）

数年前には、自動車道での「三つのむやみに」が時折発生し、個々の交通警官は民衆など眼中になく、服務態度が極めて悪く、交通管理工作も同時に社会の注目の「マト」となっていた。一部の民衆の目からすると、交通管理工作には権限、威勢、利益が伴うので、不正の気風が比較的ひどい部門の一つである。

“三乱”は“乱收费、乱罚款、乱摊派”（むやみに費用を徴収する、むやみに罰金を課す、むやみに割り当て金を取る）の省略形。元々、政府の各部門が企業や自営業者に対して、むやみにカネを取り立てることを指す言葉であるが、ここでは交通警官が交通取り締まりに名を借りて、トラック運転手などからカネや積み荷の一部を巻き上げる行為を指す。

6. 2. 治安問題と対策

（1）“三道防线”（三つの防御線）

“三口管理”（三つの人口管理）

数年前、湖北省孝感市の孝感駅は、現地の人々に“黑三角”（暗黒の三角地帯）と呼ばれていたほど治安が悪かった。鉄道の京広（北京－広州）線と国道一〇七号線が交差し、流動人口が多く、殺人事件などが多発していた。一九九一年に孝南区の駅前派出所の所長として赴任した羅少雲は治安回復を目指して、派出所管内に、①複数の“警务区”（警備区）を創設し、各警備区の責任制を実行した。②三つの防御線を創設した。③犯罪捜査専従チームを創設し、数年間で千百五十九件の事件を解決した。（殷雲・李芳[1996]p. 48）なお、中国の派出所は日本の警察署ほどの規模であり、その管内に設立された各々の警備区が日本の派出所に相当する。

二是建立“三道防线”，掌握预防和控制犯罪的主动权。辖区内的四

个村和一百二十多个企事业单位都建立起治保组织，形成社会治安的第一道防线；第二道防线是组建公安巡逻队，在重点地区和复杂场所设卡布控；第三道防线是利用微机加强“三口”管理，即以常住人口管理为基础、暂住人口管理为重心、流动人口管理为重点。（96-21-48）

第二に「三つの防御線」を建設し，犯罪を予防し制御する主導権を掌握する。管轄地区内の四つの村と百二十余りの企業，事業所の全てに治安維持組織を建設し，社会的治安の第一の防御線を形成する；第二の防御線は公安巡邏隊を組織し，重点地区と問題のある地域に検問所を設け統制する；第三の防御線はパソコンを利用して「三つの人口管理」を強化することである。すなわち，常住人口の管理を基礎とし，暫定人口の管理を中心とし，流動人口の管理を重点とする。

中国では，戸籍の移動は基本的に禁止されており，特に，農村から都市への移動は非常に難しいが，逆は比較的容易である。“暫住人口”とは，農村に戸籍があり，都市で“临时户口”（一時居住許可）を得て生活している人々を指す。例えば，沿海の開発区では臨時工または正社員として農村戸籍者を採用できるが，臨時工の場合には通常二～三年の暫定期間，都市戸籍者となれる（稻垣清[1997]p. 205）。

治安維持のためには，住民管理が基本となるようで，遼寧省盤錦市双台区遼河派出所でも，パソコンを導入して管轄下の定住人口，流動人口，暫定人口の管理を行っている。（張健[1997]pp. 44-45）

（2）“三宽三严”（三つの寛大と三つの厳格）

河南省南陽市は一九九四年に「地区」から「市」へ昇格したが，当時毎年数十名の警官が自分かってに法を曲げたり，拷問により自白を強要したり，賄賂を受け取ったりして，逮捕あるいは処分されていた。公安隊列全体の資質向上を図るため，新任の市公安局長・楊德勝は警官一人一人について資格審査を実施することを提案した。今回の審査で，千一名の警官が「優秀」，四千三十七名が「適格」と評価され，「不適格」と評価された二十一名が辞職させられた。

资格审查共分自审、互审、评审和定审四个阶段。最后由市局资格审查领导小组对每一位民警作出优秀、称职、不称职的结论。对审查出的问题坚持“三宽三严”的原则，即：自我查出的从宽，民主互审出的从严；历史问题从宽，现实问题从严；边审边改的从宽，坚持错误的从严。（97-12-44）

資格審査は全部で自己審査，相互審査，審査評価および審査決定の四段階に分けられる。最後は市の公安局資格審査指導チームが一人一人の警官に対して，優秀，適格，不適格の結論を下す。審査で出てきた問題に対しては，「三つの寛大と三つの厳格」の原則を堅持する。すなわち，自己審査で出たものは寛大に扱い，民主的な相互審査で出たものは厳格に扱う；歴史的な問題は寛大に扱い，現実的な問題は厳格に扱う；審査過程で改めつつあるものは寛大に扱い，誤りに固執しているものは厳格に扱う。

（3）“三禁并举”（三つの禁止を同時に取り上げる）

一九九一年から九六年にかけて，全国で検挙された麻薬犯罪は二十三万三千四百四件に上り，検挙件数は毎年五十二・六％の伸びを示している。この期間内に，約二万一千五百キログラムのヘロイン，約一万二千六百キログラムの阿片，約八千五百キログラムの大麻，約四千四百キログラムの“冰毒”（覚醒剤の一種，アンフェタミン類）が押収され，約六万五千人が逮捕された。（張寒[1997]p. 12）

一九九一年全国禁毒工作会议以来，各地党委、政府及各有关部门密切配合，认真贯彻“三禁并举、堵源截流、严格执法、标本兼治”的方针，不断加大禁毒斗争的力度，使禁毒工作取得了显著成绩。

（97-9-12）

一九九一年の全国麻薬取り締まり工作会议以来，各地の党委員会，政府および各関係部門は緊密に協力し，「三つの禁止を同時に取り上げ，源を塞ぎ流れを止め，厳格に法を執行し，表面的な部分も根本的な部分とともに治す」という方針を真面目に貫徹し，麻薬取り締まり

闘争の力を絶え間なく増強したので、麻薬取り締まり工作は顕著な成績を獲得している。

“三禁并举”の“三禁”とは，“禁种、禁販、禁吸”（栽培，販売，吸引を禁止する）を指す。

（４）“四个转变”（四つの変化）

河北省秦皇島市公安局の車両管理所は指導幹部から警察官に至るまでの管理所全体のイメージアップを図っている。車両管理所の主な仕事は、新車の登録、運転免許試験の実施、免許証の発行、車検の実施などであるが、従来はこれらの手続きにはコネを用いたり、賄賂を送らないと事が運ばなかった。こうした状況を打開するため、魏順安所長は率先してイメージ改善に努め、新車登録手続きは十分以内、登録証交付は三時間以内などの二十項目のサービスを所員全体に徹底させた。違反すれば、一回目は始末書を提出、二回目は経済的処置、甚だしい場合は配置転換もあり得る。また、在職幹部、退職幹部、一般大衆から二十名余りの警察風紀監視員を招聘したり、所長対応日制度、三本のホットライン、四つの意見箱、二十余冊の意見簿を設置するなどして、サービス向上に努めている。（孟憲俊[1997] pp. 56-58）

形象工程建设给全所工作带来了“四个转变”：警民之间的关系由“油水”关系变成了鱼水关系；为人民服务由被动变成了主动；工作标准由甘居中游转变到争创一流；廉政建设由不情愿到自觉自愿。

（97-18-58）

イメージ作り事業は所の仕事全体に「四つの変化」をもたらした。すなわち、警官と民衆の関係が一方的な「甘い汁」を吸う関係から相互的な水魚の関係に変わった；人民のためのサービスが受け身から主動的なものになった；仕事の基準が、可もなし不可もなしに甘んじる状況から争って一流を達成する状況に変わった；清廉な政治の建設が厭々から自覚した自発的なものになった。

（５）① “三全”（三つの全て）

② “三严”（三つの厳格）

③ “三结合”（三つの結合）

広東公安国境防衛総部隊は警察でもあるし、軍隊でもある。二万人余りの人員を擁し、広東省の四千三百キロメートル余りの海岸線を防衛し、密輸や麻薬の取り締まり等に当たっている。一九九四年に赴任した総部隊政治委員兼党委員会書記・孫克雄は、部隊の精鋭化と規律・管理の厳格化を徹底した。（方正輝・張寒[1997]pp. 42-43）

针对边防部队特点，在管理上，总队实行“三全”：时间上实行全日制管理，克服管理时间上的“空档”；在人员上实行全员额管理，克服管理对象上的“死角”；在内容上实行全方位管理，克服管理空间上的“盲区”。 “三严”：严兵先严官，严官先严主官，严部队先严机关。 “三结合”：经常性教育与经常性管理结合，部队管理与家庭管理结合，营区管理与社会管理结合。（97-3-43・44）

国境部隊の特質に対処するため、管理については、総部隊は「三つの全て」を実行する。すなわち、時間については、二十四時間管理を実行し、時間管理上の「空白」を克服する；人員については、定員管理を実行し、人員管理上の「死角」を克服する；内容については、全方位管理を実行し、空間管理上の「盲点」を克服する。「三つの厳格」とは、兵士に厳しくする前に将校に厳しくする、一般の将校に厳しくする前に主たる将校に厳しくする、現場の部隊に厳しくする前に本部に厳しくする。「三つの結合」とは、経常的な教育と経常的な管理を結合し、部隊管理と家庭管理を結合し、部隊敷地内の管理と社会管理を結合すること。

6. 3. 教育問題

一九八六年に「義務教育法」が制定され、小学校六年と中学校三年の合

計九年の義務教育化が決定し、九〇年を目処に全国規模での六年の初等教育の普及が提唱された。

九三年には「中国教育改革・発展要綱」が出され、二〇〇〇年までに全国の人口の八十五％を占める地域で九年制の義務教育を普及させることが目標として掲げられた。北京、上海、遼寧省などの経済発展の速い地域では九四年までに九年制の義務教育化が完了している。（新保敦子[1995]p. 176）

現在、義務教育には、次の三つの問題が存在している。第一に、知育偏重の受験教育から知・徳・体のバランスのとれた素質教育への転換がなされなければならないという問題、第二に、様々な名目のもとに徴収される多額の諸経費の問題、第三に、完全に「六三制」に統一されていない学制の問題が存在している。以下では、こうした問題点を含めた、教育にかかわる略語を検証していく。

（１）“普九”（九年の義務教育を普及する）

“普九”は“普及九年义务教育”（九年の義務教育を普及する）の省略形である。一部の農村地域では義務教育制度達成のため、農民や教師に対して、多額の分担金を拠出させる現象が目に見え、余る。次の例文は、広東省郁南県大湾鎮の五十数名の教師が連名で『半月談』に訴えた投書の一部である。

为了实现“普九”达标，政府还向每位教师征收“普九”达标费八十元（此款分作两年征收）。此外，镇政府又扣每位教师工资一百元作“普九”达标费。教师的家属也逃不过这样的扣款。按户口簿，每人要征收二十元。当然这钱也由我们教师负担。（97-24-45）

「九年制義務教育普及」目標達成のため、県政府はその上に教師一人当たり八十元の「九年制義務教育普及」達成費（この額を二年分割にして）を徴収した。このほかに、鎮政府も各々の教師の給料から百元を天引きして「九年制義務教育普及」達成費とした。教師の家族もこうした割当金から逃れることはできず、住民登録台帳に基づいて、

一人当たり二十元が徴収された。当然このカネも我々教師が負担した。文中に「その上に」とあるのは、県政府が九二年から九四年にかけて六百元の道路修築基金を、九五年には二百五十元の堤防修築費を、各々の教師の給料から天引きしたことを指す。

（２）“三苦”（三つの苦勞）

都市部における受験競争の激化と对象的に、農村部では、様々な名目で徴収される雑費の負担に耐えきれない家庭や、生産請負制度の普及と商品経済の浸透により、児童を就学させずに農作業に従事させる家庭が多い。目下のところ、農村には“失业児童”（就学機会を失った児童）が数千万人も存在すると言われている。

我国有九亿农村人口，目前农村义务教育任务和扫盲任务仍很重，特别是在老少边穷地区，教育投入严重不足，教育质量令人担忧。城市与农村教育条件“两极分化”较为严重，出现“三苦”现象，农村教育落后局面值得关心。（97-1-47）

我が国には九億の農村人口があり、目下農村における義務教育の任務および非識字者一掃の任務は依然として重要で、特に旧解放地区、少数民族地区、辺境地区、貧困地区においては、教育投入資金が甚だしく不足しており、教育の質は嘆かわしい。都市と農村の教育条件の「兩極分化」はかなりひどく、「三つの苦勞」現象が出現しており、農村教育の立ち後れ局面は関心を寄せるに値する。

“三苦”とは、“学生苦读、教师苦教、家长苦熬”（学生は苦勞して勉強し、教師は苦勞して教え、保護者は苦勞して堪え忍ぶ）の略語。

（３）“一校两制”（一つの学校に二つの制度）

教師の側も、様々な名目を設けて生徒から多額の諸経費を徴収するため、家庭がそうした負担に耐えきれず、退学を余儀なくされる生徒が続出している。それに加えて、公立学校の教師が、個人あるいは学校ぐるみで、学校の建物や設備を流用して予備校や塾まがいの商売をするケースが多発し、大きな社会問題となったため、国家教育委員会はこうした行為を厳しく禁

止する旨を通達した。

国家教委明确规定，义务教育阶段不设重点校、重点班、快慢班，除省级教育行政部门批准的教改试（实）验班外，一般不设试（实）验班。义务教育阶段公办中小学校不举办“校中民办校”或“校内民办班”，严禁搞“一校两制”。义务教育阶段学校不得跨省市招生、办分校，已办的应撤回或彻底分离。（97-3-51）

国家教育委員会が明確に規定したところによると、義務教育段階で重点校、重点クラス、習熟度別クラスを設置してはならず、省レベルの教育行政部门の許可した教育改革モデル（実験）クラスを除いて、一般にはモデル（実験）クラスを設置してはならない。義務教育段階の公立小中学校は、「校内私設学校」や「校内私設クラス」を運営してはならない。「一つの学校に二つの制度」を行うことを厳禁する。義務教育段階の学校は省や市を跨って生徒募集したり、分校を設けたりしてはならず、すでに実施されている場合は撤回あるいは徹底分離しなければならない。

（４）“两极”（両極）

現在中国には二億七千万の家庭と六千万人の一人っ子が存在し、家庭内における親子の断絶が問題となりつつある。家庭教育問題に関する『中国婦女報』の全国アンケート調査結果によると、保護者側には「子供と共通の話題がない」「子供の金遣いが荒い」といった問題点が、子供の側には「保護者が自分を理解してくれない」「保護者は学習成績にのみ関心を抱いている」といった悩みが存在し、両者の間に有効な交流が欠けていることが明らかになった。（李玲[1996]p. 21）

这里所说的“两极”，是指家长与做子女的中小學生。这说法是不是有些危言耸听？在家庭中朝夕相处，怎么会有“两极”之说？

（96-20-21）

ここで言う「両極」とは、保護者とその子供である小中学生を指している。この言い方はいくぶん誇張があるのではないか。家庭で朝夕

いっしょに過ごしているのに、なぜ「両極」という言い方をするのか。これは、那須[1991]に収録の“两极”とは用法が異なる。なお、『半月談』一九九七年第十期によれば、中国の家庭は三億二千万世帯、一人っ子は六千三百万人である(p. 12)。

(5) “三个一切” (三つの全て)

受験戦争の激化に伴い、知育のみが偏重され、徳育、体育、情操教育等がおろそかにされる傾向が顕著である。北京二十一世紀実験学校校長の張福岐は生徒の「素質教育」の重要性を訴えている。

我们学校的教育教学工作主要围绕“三个一切”进行，即：“一切为了学生；为了一切学生；为了学生的一切”； 其中的“为了学生的一切”就是指对全体学生要进行全面的服务，为全体学生的德、智、体、美诸方面全面和谐发展服务，不能为了应试而不顾其它素质的培养。

(97-10-12)

我々の学校の教育工作は主として「三つの全て」をめぐる進行している。すなわち、「全てが生徒のために；全ての生徒のために；生徒の全てのために」である。その中の「生徒の全てのために」とは、生徒全体のために全面的なサービスを行わなければならないことを指しており、生徒全体の徳育、知育、体育、美術教育などの方面の全面的で調和のとれた発展のためにサービスを行うことであり、受験のためにそのほかの素質の養成を怠ることはできない。

(6) “一评二挂” (一つの評価と二つの連動)

山東省招遠市の調査によると、各小中学校が進学率の向上のみを追求するあまり、音楽、体育、美術などの授業開講率が四十%にも満たない状況に陥っていた。同市では、生徒の全面的な素質の向上を図るべく、一九八七年に入試制度の改革に着手し、個々の学校に対する評価を加味することによって、入試偏重の弊害を緩和した。(郭小蘭[1997]p. 51)

在具体做法上，招远抓住升学指标这个“杠杆”，对人们片面追求升学率的竞争进行调控，实行“一评二挂”。“一评”就是建立乡镇和学

校在办学方向、教学质量、管理水平、办学条件等方面的评估体系；“二挂”就是把高中和中专招生名额与乡镇的办学水平挂钩。将高中（中专）招生与评估成绩挂钩，按照评估成绩高低将招生名额分配到乡镇。全面贯彻教育方针的乡镇可以多得到招生指标，反之则减少招生名额，这样引导乡镇和学校按照素质教育的要求办学。（97-19-52）

具体的な実施方法として、招遠市は進学目標数値という「テコ」をしっかりとつかみ、人々の偏った進学率追求競争に対して調整を加え、「一つの評価と二つの連動」を実行した。「一つの評価」とは、郷鎮と学校が学校運営方針、教学の質、管理水準、学校運営条件等の方面の評価体系を打ち立てることである；「二つの連動」とは、高級中学および中等專業学校の募集定員を郷鎮の学校運営水準と連動させることである。高級中学（中等專業学校）の生徒募集と評価成績を連動させ、評価成績の高低に基づき募集定員を郷鎮へ割り当てる。全面的に教育方針を貫徹している郷鎮は募集人数を多めに獲得することができ、その反対であれば募集定員を減らすことによって、郷鎮と学校が素質教育の要求に基づいて学校運営を行うように指導する。

“中专”は“中等专业学校”（中等專業学校）の省略形。通常、中等專業学校は四年制であり、初級中学卒業後入学する。高級中学卒業者が入学することもあるが、その場合修業年限は二年である。

（7）①“五四制”（五四制）

②“六三制”（六三制）

③“五三制”（五三制）

第三个问题是学制问题。有的地方是五四制，有的是六三制，有的是五三制，比较混乱。一个省、一个市大体上应订个目标，把学制统一起来，围绕这个目标逐步调整。（97-10-1）

三つ目の問題は学制の問題である。ある地方は五四制，ある地方は六三制，ある地方は五三制とかなり混乱をきたしている。概ね省や市ごとに目標を立て，学制を統一し，この目標に向かって徐々に調整を

していかなければならない。

「この目標」とは、六三制の義務教育を指している。

（8）①“五一目標”（五つの目標）

②“两个展览”（二つの展覧会）

③“三个景点”（三つの景観）

④“四个窗口”（四つの窓）

近年来，貴州師範大学共產主義青年団と学生自治会は積極的に文明学園建設活動を実行し，地域社会での援助活動，農村での科学技術紹介，貧困支援等を実践しており，大学共青团委員会は一九九六年に省の共青团委員会から「貴州省先進团组织」の称号を授与され，連続二年「全国大学社会实践先進集団」の榮譽を勝ち取っている。（唐勇[1997]p. 52）

次の方法でキャンパスの文明建設を実行している。

…，力争实现“五一目标”——“建设一条文明路，建设一幢文明楼，建设一个文明食堂，建设十间文明教室，建设一百间文明寝室”；两个展览——“香港百年”近现代爱国主义图片展，“香港回归”老年、青年书画展；三个景点——建设美化好一个“教师摇篮”景点，一个毛泽东雕像景点，一个图书馆景点；四个窗口——宣传“牌、窗、栏、报”（名人名言牌、橱窗、阅报栏、黑板报）。（97-8-53）

頑張って「五つの目標」を実現する。すなわち，「一つの文明路を建設し，一つの文明棟を建設し，一つの文明食堂を建設し，十の文明教室を建設し，百の文明寝室を建設する」。二つの展覧会，すなわち，「香港百年」近現代愛國主義絵画・写真展，「香港返還」老人・青年書画展を実現する。三つの景観，すなわち，「教師養成機関」の景観，毛沢東像の景観，図書館の景観作りをして美化を実現する。四つの窓，すなわち，宣伝のための「プレート，掲示板，閲覧カウンター，新聞」（有名人の名言を記したプレート，ウィンドウケース付き掲示板，新聞閲覧カウンター，黑板报新聞）を実現する。

“五一目標”の四つ目は“十”と表されており，“一”はないが，中国人

の感覚では“一十”である。「五つの目標」は、キャンパス内における清潔感と秩序のある道路、建物、食堂、教室、寮作りを提起している。“黑板报”は、黑板によるニュース等の伝達を指す。

(9) ① “校园三老” (学園の三種のベテラン)

② “一助一” (一対一の支援)

また、貴州師範大学では、積極的に高齢者に対する支援活動を展開している。

在“老”字上做文章字，积极参与我国正在实施的“扶老助困行动”

“晚霞金辉计划”等“助老工程”，组织艺术、教育等系每月一次到敬老院去陪伴一下那些老人，为他们唱支歌、跳个舞。同时进一步深化“校园三老”的“一助一”长期结对服务，建立青年志愿者服务站。

(97-8-53)

「老」という字について述べると、我が国が実施中の「高齢者支援活動」「輝きの晩年計画」等の「高齢者支援事業」に積極的に参加しており、芸術や教育等の学部では毎月一回養老院を訪れて老人の相手をし、彼らのために歌を歌ったりダンスをしたりする。同時に、「学園の三種のベテラン」による「一対一の支援」の長期的ペア固定化サービスをさらに進めるため、青年ボランティアサービスセンターを設立した。

“校园三老”とは、“老干部，老教师，老职工”（定年退職した幹部・教師・職員）を指す。彼らが学生ボランティアを引き連れて老人ホームの慰問を行っている，ということ。那須[1991]には“三老”が採録されているが，“校园三老”とは内容が異なる。

この他に、同大学では，“三育人”（德育・知育・体育の三つを学習する人），“十忌语”（十の忌むべき言葉），“十要十不要”（十の必要なものと十の要らないもの）を重んじる教育活動が展開されているが、後ろの二者の具体的な内容は不明。

(10) “三元结构” (三元結合)

一九八四年に南京大学学長に就任した曲欽岳は、大なたを振るって大学改革を断行した。その結果、国際学会で発表される論文数および海外で引用される論文数がともに中国の大学の中で上位十位以内にあり、一九九四年には北京大学を抜いてトップとなった。（盧殿洛・華衛列[1997]p. 44）

学校一方面从我国科技发展和社会进步的长远需要出发，坚持“少而精”的原则，培养一批高质量的“基础性”人材（占在校生的30%）；另一方面，努力面向国民经济主战场，培养大批“复合型”应用人材（占在校生的70%）。学校在确立以课堂教学、学术活动、社会实践与科学实验为主体的“三元结构”教学模式后，对这两类人材的培养采取了不同的措施。（97-8-45）

学校は一方では我が国の科学技術の発展と社会の進歩による長期的需要に基づいて、「少数精鋭」の原則を堅持し、質の高い「基礎的」人材（在校生の30%を占める）を養成する；他方では、国民経済の主戦場に鋭意対処し、大量の「複合型」応用人材（在校生の70%を占める）を養成する。学校は、教室での教育、学術活動、社会实践と科学実験を主体とする「三元結合」教学モデル方式を確立した後、この二種類の人材の養成に関して、異なった措置を講じた。

“三元结构”は、例文中の①教室での教育、②学術活動、③社会实践と科学実験、を指している。基礎的人材の確保のために、同大学では大学統一入学試験（“統一高考”）に先駆けて、江蘇省内の重点中学から独自に優秀な学生を集めている。基礎的人材とは研究者養成の対象となる学生であり、複合型人材とは卒業後に経済界等の実社会で活躍する学生である。

（11）“双选会”（双方向選択会）

“双选会”は“双方向选择会”（双方向選択会）の省略形で、求人側の企業と求職側の学生の双方が互いに良い人材、良い企業を選択すること。

複合型応用人材の養成に当たって、南京大学では一、二年で数学、英語、コンピューターなどの基礎科目を徹底して指導し、高学年では選択科目を増やすなどして、各自の専攻分野以外の知識の習得にも力を入れている。

(盧・華[1997]p. 45)

记者连续两年跟踪了南大毕业生就业“双选会”，每年都有来自全国各地的近百家单位不请自到摆摊招生。据南大分配办公室主任张遐道介绍，从学校确立了“吸引一流生源，给予学生一流培养，使毕业生有一流的就业竞争能力”的教学改革工作目标后，近几年南大的毕业生分配一次到位率都在九十五%以上。(97-8-45)

記者は連続二年南京大学卒業年次生の就職「双方向選招会」に参加したが、毎年全国各地から百社に近い企業が自発的にやって来て店開きし求人を行っている。南京大学就職担当主任の張遐道の紹介するところによると、「一流の素質を持った学生を集め、学生に一流の教育を施し、卒業年次生に一流の就職競争能力を持たせる」という教育改革工作目标が達成された後、ここ数年南京大学の卒業年次生の就職は、第一次志望合格率が九十五%以上となっている。

(12) “一纲多本” (一つの大綱と多種類の教材)

国家教育委員会は、一九九八年秋の新学期から“中学”(初級中学および高級中学)の「思想政治」課の教材を改訂することにした。改革開放後、一九八〇年、八五年、九二年に修正されたが、今回の改訂は、九四年の全国教育工作会議において、江沢民が「改革と建設の中で出現した新しい状況と新しい問題に対処し、学校の思想政治工作和政治課教育を絶えず強化し改善しなければならない」と述べたことを受けている。

据了解，这次中学思想政治课教材的改编工作将实行“统一要求、教材多样”的原则，即“一纲多本”。各省可根据教学大纲自行编写新教材，但所编教材要经过国家教委中小教材审订委员会的审查后方可启用。同时，国家教委已委托专家组编写示范教材，准备推荐给各省使用。

(97-23-11)

この度の中学の思想政治課教材の改編工作は「統一的要求，教材の多様化」の原則，すなわち，「一つの大綱と多種類の教材」を実行する予定であることが分かった。各省は教学大綱に基づいて自ら新教材

を編むことができるが、編まれた教材は国家教育委員会小中学校教材審査委員会の審査を経たのちに初めて使用することができる。同時に、国家教育委員会はすでに専門家グループに模範教材の編纂を委託しており、各省に推薦して使用してもらう予定である。

6. 4. その他

6. 4. 1. 消費財市場の改善

（1）“两个结构”（二つの構造）

一九九六年に入って、消費財の売れ行きが好調にもかかわらず、工業製品の販売率は下降している。その理由として、①合併企業の製品と輸入製品に押されている、②輸出が低下し、その分だけ多く国内市場へ回っている、③消費財市場の需給にアンバランスがある、といった点が挙げられる。政府関係部門は、こうした新たな問題の出現を非常に重視し、適時対策を講じている。

适时调整“两个结构”。加快工业消费品供给结构调整，对适销对路的产品进行信贷支持，对供过于求的产品要限产或转产；改善消费结构，使居民食物、住房、穿着、用品、文体等各项消费保持合理的比例。

（96-19-23）

「二つの構造」を適時調整する。工業消費財の供給構造の調整を急ぎ、売れ行きの好調な製品に対しては貸付を行い支持し、供給過剰な製品に対しては生産制限あるいは他の製品の生産へ切り換えさせる；消費構造を改善し、住民の食糧、住宅、衣料、日用品、文化・スポーツ等の各項目の消費を合理的な比率に保たせる。

したがって、“两个结构”とは、“工业消费品供给结构”（工業製品である消費財の供給構造）および“消费结构”（消費構造）の二つを指す。

（2）“四进、四扩行动”（四つの進出と四つの拡大行動）

开拓市场，扩大销售。要尽快采取“四进、四扩行动”。“四进”是：“向广阔的农村市场迈进，向兴旺的城市市场深进，向辽远的边疆市

場迅速，向多边的国际市场拓进”。“四扩”是：“扩大销售额，扩大市场占有率，扩大经济效益，扩大调控能力”。（96-19-23）

市場を開拓し，販売を拡大すること。できるだけ迅速に「四つの進出と四つの拡大行動」を採らねばならない。「四つの進出」とは，すなわち，「広大な農村市場へ突き進み，活気のある都市市場へ深く分け入り，遠く離れた辺境市場へ速やかに入り込み，多国間の国際市場を切り開く」ことである。「四つの拡大」とは，すなわち，「販売額を拡大し，市场占有率を拡大し，経済効率を拡大し，調整能力を拡大する」ことである。

6. 4. 2. 洪水対策

（1）① “四通”（四つを通す）

② “三有”（三つの有）

③ “三不”（三つのさせない）

④ “二恢复”（二つの回復）

近年，夏になると各地で洪水が発生し，甚大な被害をもたらしている。次の例文は，一九九六年七月中旬に特大の洪水に見舞われた湖南省西南部の洞口県の対処を示している。

县委、县政府及时制定了“四通”，“三有”，“三不”，“二恢复”的救灾方针，并且响亮地提出了“早稻损失晚稻补，水稻损失秋冬播作物补，水田损失旱土补，种植业损失养殖业补，农业损失工副业补”的口号。（96-17-10・11）

共産党県委員会と県政府は「四つを通す」「三つの有」「三つのさせない」「二つの回復」の方針を機を逃さず制定し，そして「早稲の損失を晩稲で補う，水稻の損失を秋冬に種蒔きをする作物で補う，水田の損失を畑で補う，栽培業での損失を養殖業で補う，農業での損失を工業や副業で補う」というスローガンを高らかに打ち出した。

“四通”とは，“通电、通水、通车、通电话”（電気，水道，車，電話を

通じさせる）こと。“三有”とは，“有飯吃、有衣穿、有房住”の略語で、被災した民衆に「食べる物があり、着る物があり、住む家がある」こと。

“三不”とは，“不倒水库、不发生流行疫病、不逃荒”（ダムを決壊させない、伝染病を発生させない、農民を他郷へ逃げ出させない）こと。“二恢复”とは，“恢复生产、恢复基础设施”（生産を回復する，基本施設を回復する）こと。

（２）“三通”（三つを通す）

“四通”の類似表現として，“三通”（三つを通す）も用いられる。

拼命冒死抢“三通”，……把吃的东西运进来，把药品运进来，尽快恢复通车、通水、通电成为灾后第一件大事。（96-17-8）

命がけで「三つを通す」を即刻確保する。……食べ物を運び込み，薬品を運び込み，できるだけ早急に道路を復旧し，飲料水，電気の供給を回復することが被災後の第一番目の大事である。

“三通”は通常，“通邮、通商、通航”（通信，通商，往来）を意味し，中国の台湾政策を表す略語である。ただし，都市建設などの基本建設工事を指す“三通一平”（三つの通すと一つの整地）という場合の“三通”の指す内容は災害復旧の“三通”と同じである。ちなみに，“三通一平”の元の形は“通水、通电、通路和平整土地”。

なお，原文では，“拼命冒死抢三通”の部分は小見出しとなっている。

6. 4. 3. 一人っ子政策

農村部においては第一子が女兒の場合，第二子の出産が許されているにもかかわらず，一人っ子政策は必ずしも順調に実行されていない。例えば，①幹部あるいはその親族や友人が権力を利用して“生育指标”（出産目標枠）を手に入れ，規定外の出産をする。②裕福であれば，罰金を払ってでも生む。③こっそり生んで戸籍に登録しない。これには故郷を離れて“超生游击队”（超過出産遊撃隊）となって生む者も含まれる。このほかに，末端幹部が保身と出世のため，上級機関へ虚偽の報告をすることもある。

また、農村においては、一人っ子政策担当者と農民の間に流血事件が発生することも珍しくなく、強引一点張りの工作方法は見直しを迫られている。

(1) “三不变” (三つの不変)

计划生育工作要坚持“三不变”，即：坚持各级领导一把手亲自抓负总责；坚持现行计划生育政策；坚持既定人口控制目标。(97-3-1)

計画出産工作は「三つの不変」を堅持しなければならない。すなわち、各級の指導者のトップが自ら総責任を負うことを堅持する；現行の一人っ子政策を堅持する；既定の人口抑制目標を堅持する。

(2) “三为主” (三つの主とするもの)

落实“三为主”，即：以宣传教育为主，以避孕为主，以经常性工作为主。(97-3-1)

「三つの主とするもの」を実行する。すなわち、宣伝教育を主とする，避妊を主とする，日常的な工作を主とする。

(3) “三结合” (三つの結合)

所谓“三结合”，就是把计划生育工作与发展农村经济结合起来，与农民勤劳致富奔小康结合起来，与建设文明幸福小家庭结合起来。

(97-1-24)

いわゆる「三つの結合」とは、計画出産工作を農村經濟の發展と結びつける，農民が労働に励み豊かになりまずまずの生活水準に向かう

ことと結びつける，文化的で幸福な家庭を建設することと結びつける。これは、本章第二節の広東公安国境防衛総部隊で使用の“三结合”と内容が異なっている。

(4) “两个转变” (二つの転換)

在工作思路和方法上实现两个转变，即由孤立就计划生育抓计划生育向与经济社会发展紧密结合，采取综合措施解决人口问题转变；由以社会制约为主向逐步建立利益导向机制和社会制约机制相结合，宣传教育、综合服务、科学管理相统一的机制转变。(97-3-1)

任務に対する考え方とその遂行方法において二つの転換を実現する。すなわち、孤立して一人っ子政策に従事し一人っ子政策に力を入れるやり方から経済社会の発展と緊密に結合し、総合的な措置を取り人口問題を解決する方向に転換する；社会的制約を主とするやり方から利益誘導メカニズムを徐々に作り上げて社会制約メカニズムと結合し、宣伝教育、総合サービス、科学的管理を統一したメカニズムに転換する。

“两个转变”は、第四章第一節で紹介したように、第九次五カ年計画の中で提起された経済構造転換方針であるが、ここでは一人っ子政策の転換を示す言葉として用いられている。

6. 4. 4. 香港問題

（1）“九七”（九七年の香港の中国返還）

一九九七年七月一日は、香港が中国へ返還された歴史的な日であった。香港返還を間近にひかえた九六年から九七年上期にかけて、“九七”という略語が頻繁にマスコミ等に登場した。

香港作为一个国际贸易中心，目前与一百八十多个国家和地区保持着贸易往来，而且在许多国际贸易组织中均享有一定地位。“九七”后，香港作为祖国的一个特别行政区，如何继续参与国际多边和双边的经贸活动呢？（96-22-12）

香港は国際貿易センターとして、目下百八十余りの国および地域と貿易関係を保っており、しかも多くの国際貿易組織のいずれにおいても一定の地位を享受している。「九七年の返還」後、香港は祖国の特别行政区として、如何にして引き続き国際多国間および二国間経済貿易活動に参加するのか。

（2）“五不变”（五つの不変）

一九九七年四月、広東省の公安部門は、返還後も中国人の香港への出入りは従来通り規制する旨公表した。

根据我国政府及《香港特别行政区基本法》规定，香港回归后仍实行严格的出入境管制，实行“五不变”：现行的内地与香港人员往来的规定及做法、内地符合条件的申请人须事先申请获批准后方可前往香港、香港特别行政区和内地分别设关检查放行的做法、限额审批原则、偷渡滞留香港人员一律遣返的做法原则不变，或基本不变。（97-8-74）

我が国政府および『香港特別行政区基本法』の規定に基づいて、香港返還後も依然として厳格な出入管理を実行し、「五つの不変」を実行する。すなわち、現行の内地と香港の人々の往來の規定および方法、内地の条件に合致する申請者は事前に申請し許可を得た上で初めて香港へ行くことができるというやり方、香港特別行政区と内地にそれぞれ検問所を設け検査して通行を許可するやり方、一定限度数のみ審査許可する原則、香港へ密かに入り込み滞在している者を一律に送還するやり方は原則的に変更しない、あるいは基本的に変更しない。

（３）“三不变”（三つの不変）

「一国二制度」に象徴される香港の資本主義的制度の保持は、「五十年不变」という中英間の取り決めに裏打ちされたものである。

香港回归后的“三不变”。在我国政府对香港恢复行使主权后，在国家主体坚持实行社会主义制度的条件下，香港继续实行资本主义制度，保持原有的社会、经济制度不变，生活方式不变，法律基本不变。

（97-13-64）

香港返還後の「三つの不変」。我が国政府が香港に対して主権を回復した後、国家主体は断固として社会主義制度を実行するという条件のもとで、香港は引き続き資本主義制度を実行し、元々あった社会・経済制度が変わらない、生活方式が変わらない、法律が基本的に変わらない、という状況を維持する。

（４）“三点一线”（三点を結ぶ）

返還前、中国の総輸出高の四十％は香港経由で行われており、返還後も中国本土と海外を結ぶ窓口として、香港の役割に期待するところは大きい。

一九九六年末までに広東省が導入した九百億ドル余りの外資の八十％は香港を通じて獲得された（慎海雄[1997]p. 32）。

香港大学教授徐是雄认为，经过这五年的发展，香港---深圳---内地“三点一线”的战略格局开始形成，为回归后内地与香港的腾飞打下了良好基础。（97-8-32）

香港大学教授の徐是雄は、この五年間の発展を経て、香港--深圳--内地の「三点を結ぶ」という戦略的構造が形成し始められ、返還後の内地と香港の飛躍のために良好な基礎作りがなされた、と考えている。「この五年間」とは、第八次五カ年計画の期間を指している。

7. 結び ---- 数字を用いた略語の特質

数字を用いた略語は、それが（a）政策や方針を実現するためのスローガンとして用いられる場合、あるいは（b）政策や方針が実行された結果生じた、特定の社会現象や実態を表す場合がある。また、政策や方針の推進者が（A）共産党中央または中央政府の場合、あるいは（B）省から村に至る各レベルの共産党委員会または地方政府または個別国有企業等の場合がある。整理してみると、次の通り。

- ① = （A a）中央の政策を表すもの（例：“两手抓”）
- ② = （B a）地方や企業の政策・方針を表すもの（例：“五个一”）
- ③ = （A b）全国的な事象を表すもの（例：“双停”）
- ④ = （B b）地域的、個別的な事象を表すもの（例：“六差”）

上記分類①～④のうち、①と③については、今後略語辞典あるいは新語辞典の類に採録される可能性が大きい。②については、中央がその方針を積極的に支持し、マスコミに繰り返し登場するようになった場合に限り、略語として定着するが、そうした可能性は非常に小さい。④についても同様に、略語として定着する可能性は低い。新たに創出される略語は、①と②

に属するものが圧倒的に多い。

本稿では、②と④に属する略語についても、積極的に取り上げた。もし、個別企業の改革の中で用いられているとしたら、その略語は当該企業が直面している問題点をズバリ指摘するものである。例えば、「四つの反対と一つの樹立」をスローガンとしている炭鉱では、窃盗、賭博、酒乱、喧嘩が目に余り、従業員のモラルが低い。そのため、「反窃盗、反賭博、反酒乱、反喧嘩暴力、モラルある炭鉱の気風樹立」を意味するスローガンが掲げられるわけである。本稿では、こうした個別企業、個別農村で用いられている略語を多数採録した。これは、目下のところ中国が国有企業改革と農村改革という二つの深刻な問題を抱えていることを反映している。それらの略語を吟味することによって、国有企業改革や農村改革を阻む、個別的、具体的な問題点が浮き彫りにされる。

数字を用いた略語の大きな特徴として、その言語構造が単純であるがゆえに、往々にして多義性をもつことが挙げられる。例えば、“三通”は、台湾政策を指す場合は「通信、通商、往来」を指し、水害対策を指す場合は「電気、水道、道路を通すこと」を指す。類似表現も注意を要する。水害対策としての“三通”に「電話」を加えたものが“四通”であり、都市建設にかかわる略語“五通一平”の“五通”は“四通”に「埠頭」という要素を一つ加えた内容である。これに対して、漳州市地方税務局の窓口サービス“四个一”は西安市工商局的“三个一”にサービスを一つ加えた内容ではなく、福州市地方税務局の“五个一”は漳州市の“四个一”にサービスを一つ加えた内容ではない。ちなみに、長春鉄道貨物輸送センターの顧客サービスである“四个一”は、漳州市地方税務局の“四个一”と内容が異なる。

本稿では、こうした特質を有する、数字を用いた略語を検証することによって、江沢民政権の直面する政治的、経済的、社会的諸問題の一端を明らかにすることを試みた。

【参考文献】

- 北京市語言学会《新词语词典》編集グループ（編）『新词语词典』人民郵電出版社，北京市
- 丁声俊・徐明德[1996]「如何看“两代一换”？」『半月談』1996年第14期，34-35.
- 方正輝・張寒[1997]「精兵严治筑边防」『半月談』1997年第3期，42-44.
- 傅興宇・馬維秋[1996]「好苹果不能等烂了吃」『半月談』1996年第22期，48-50.
- 高欣・張躍文[1997]「企业活力的源泉」『半月談』1997年第19期，22-23.
- 桂娟[1997]「新郑干部不“走读”」『半月談』1997年第16期，30-31.
- 郭熙（主編）[1993]『汉语新语汇词典』江蘇教育出版社，南京市
- 郭小蘭[1997]「素质教育在烟台」『半月談』1997年第19期，50-52.
- 樋口裕子・吉田美穂子[1994]『中国をよむ辞書 1』国際語学社
- 稻垣清[1997]『中国のしくみ』中経出版
- 姜濤・董傑林[1996]「“二轮土地承包”在阜阳」『半月談』1996年第22期，62-63.
- 李海甫・訾紅旗[1997]「看张庄理事会咋理事」『半月談』1997年第12期，38-39.
- 李玲[1996]「沟通“两极”」『半月談』1996年第20期，21.
- 李玲・于有海[1997]「他们唱起了“国际歌”」『半月談』1997年第10期，26-29.
- 李松柏[1996]「我们是这样抓精神文明建设的」『半月談』1996年第23期，49-50.
- 李衛星[1996]「减少应酬，从谁做起」『半月談』1996年第20期，65.
- 李行健・曹聡孫・雲景魁[1989]『新词新语词典』語文出版社，北京市
- 李正華[1996]「上海，国有工业资本大重组」『半月談』1996年第15期，32-34.
- 林康義（主編）[1994]『新词新语辞典』大連理工大学出版社，大連市

- 劉春錦・張寒[1997]「利剑高悬反腐败」『半月談』1997年第17期, 13-14.
- 劉龍[1997]「记者眼中的“一站式”办公」『半月談』1997年第21期, 40-41.
- 劉賢木・張洪倫[1997]「从“救济大户”到“百强乡镇”」『半月談』1997年第17期, 38-40.
- 劉小涓[1996]「黄金乡种田“无公害”」『半月談』1996年第19期, 36-37.
- 劉雲山[1996]「抓好文明户活动 推动文明村镇创建」『半月談』1996年第24期, 8-10.
- 盧殿洛・華衛列[1997]「为了培养一流人材」『半月談』1997年第8期, 44-45.
- 馬雲亮・毛洪成[1997]「西安: 让工商形象“亮”起来」『半月談』1997年第1期, 42-43.
- 松原宏[1995]「西南日本の地域活性戦略」『西南日本の経済地域』経済地理学会西南支部(編), ミネルヴァ書房
- 閔龍華・陳仁俊(編著)[1988]『汉语简略语词典』广西師範大学出版社, 桂林市
- 明蕾[1996]「怎一個‘講’字了得! ?」『争鳴』1996年9月号, 22-23.
- 三菱総合研究所(編)[1997]『中国情報ハンドブック』蒼蒼社
- 那須雅之[1991]『中国語略語辞典』東方書店
- 大河内康憲(編)[1987]『中国定期刊行誌所掲 中国語法學論文分類索引』大阪外国語大学中国語学研究室
- 岡益巳[1995]『現代中国と流行り謡----開放政策がもたらした社会の歪み』御茶の水書房
- [1997]「流行り謡にみる政權移行期の中国社会」『岡山大学経済学会雑誌』第29卷第2号, 25-60.
- 荣富・李斌[1996]「“行风第一”是怎样得来的?」『半月談』1996年第23期, 32-33.
- 慎海雄[1997]「粵港携手渐入佳境」『半月談』1997年第8期, 31-33.
- 新保敦子[1995]「教育」『中国年鑑』中国研究所(編), 新評論

- 索研[1997]「跨越世纪的冶炼」『半月談』1997年第5期, 26-28.
- 竹内実・矢吹晋(編)[1996]『中国情報用語事典』蒼蒼社
- 丹藤佳紀[1995]『キーワードで読む現代中国』岩波書店
- 唐勇[1997]「努力创建“文明校园”」『半月談』1997年第8期, 52-53.
- 陶培荣[1996]「重要的是抓好农村基层组织建设」『半月談』1996年第22期, 54-55.
- 藤堂明保・相原茂[1985]『新訂・中国語概論』大修館書店
- 藤堂明保・辻康吾・曾紹徳・堀内克明(編)『最新中国情報辞典』小学館
- 王恒涛[1997]「乱麻交给群众理」『半月談』1997年第21期, 45-46.
- 王加林[1997]「思想政治工作是个突破口」『半月談』1997年第22期, 46-47.
- 王均熙・董福光・鍾嘉陵(編著)[1987]『现代汉语新词词典』齐鲁書社, 濟南市.
- 王麗華[1997]「“5 9 现象”的背后是什么?」『半月談』1997年第6期, 36-67.
- 王曙光[1991]『現代中国常用略語辞典』白帝社
- 吳侃(編著)[1990]『中国語新語辞典』同学社
- 武彩霞・尹筑光[1997]「“放下斧头”新疆林业的新选择」『半月談』1997年第10期, 38-40.
- 武国瑞[1997]「让经济发展再上新台阶」『半月談』1997年第13期, 62-63.
- 熊忠武(主編)[1992]『当代中国流行语辞典』吉林文史出版社, 長春市
- 徐文才[1996]「农业的根本出路在于产业化」『半月談』1996年第16期, 26-27.
- 矢吹晋[1992]『図説・中国の経済(増補改訂版)』蒼蒼社
- 雅坤・秀玉(主編)[1992]『实用缩略语知识词典』新世界出版社, 北京市
- 横井陽一[1995]「石油化学工業」『中国年鑑』中国研究所(編), 新評論, 123.
- 姚光・劉水玉[1997]「文明净土 不孤村」『半月談』1997年第19期, 42-44.
- 殷雲・李芳[1996]「警徽, 在孝感车站闪光」『半月談』1996年第21期, 48-

49.

于根元（主編）[1992]『汉语新词语』北京語言学院出版社，北京市

于有海・張寒[1996]「青岛的百姓，青岛的官」『半月談』1996年第14期，
20-23.

于振海・張羽[1997]「五千元买回主人翁意识」『半月談』1997年第15期，
38-39

余龍文[1997]「1 + 1 大于 2」『半月談』第21期，32-33.

余兆祿・陳榮富・李斌[1996]「唱好精神文明“重头戏”」『半月談』1996
年第19期，18-20.

月華[1996]「这样评“文明户”百姓太吃苦」『半月談』1996年第17期，54-
55.

曾明子・雷劉功[1997]「何时走进“都市文明”」『半月談』1997年第8期，
9-11.

張国光[1996]「谈谈沈阳的精神文明建设」『半月談』1996年第22期，20-21.

張寒[1997]「全民动员扫除毒品」『半月談』1997年第9期，12-14.

張健[1997]「蓝盾闪光为百姓」『半月談』1997年第6期，44-45.

張景媛[1997]「群众心中有杆秤」『半月談』1997年第10期，46-47.

張良[1997]「村民“参政日”」『半月談』1997年第19期，31-33.

張素秋・呂宝海（主編）[1990]『当代经济新术语』中国財政經濟出版社，
北京

張正憲[1997]「挺起你的脊梁来----与下岗职工谈心」『半月談』1997年第
7期，14-17.

張忠任[1997]「中国經濟発展における貧困問題---農村を中心に---」『中
国とアジア』第39号，38-62.

鐘嘉陵（編著）[1986]『现代汉语缩略语词典』齊魯書社，濟南市

周洪波（主編）[1997]『精选汉语新词语词典』四川人民出版社，成都市

Chinese Society Today Observed through Abbreviations with Numerals (Ⅲ)

Masumi Oka

My study on abbreviations with numerals consists of three parts. This is the last part. Many abbreviations with numerals have been used as political slogans by the Chinese Communist Party. I try to clarify, by analyzing those abbreviations, the phases of Chinese society today.

In this part of my study, I deal with those which belong to such social phenomena as ① corruption of the Party leaders and the government officials, ② disturbance of the peace, ③ educational problems, etc.

My study has revealed that abbreviations with numerals are divided into four groups, that is, those which show ① policies by the central Party and Government, ② policies by the local governments and enterprises, ③ nationwide social phenomena, and ④ local phenomena. Many abbreviations belonging to ① and ③ will appear in dictionaries in the future, and those belonging to ② and ④ will not. The latter, however, reflects the various problems that China now faces, and enables us to understand her.

Abbreviations are so simple in structure that they are often ambiguous. “San-tong”, for example, sometimes means “the three direct links between the two sides of Taiwan Straits”, and sometimes means “the three kinds of lifeline in case of calamity”.